

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科2年 ファッションプロモーションコース	単位	8単位
科目コード	科目名 ファッションプロモーション	授業期間	通年

担当教員(代表)： 薫森 三義	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します） ファッションプロモーションに必要な要素を知り、その学びを深めるために各自のテーマに基づいたオウンドメディアの制作を実践する。その実践を通して、世界中のプロモーションツールに興味を持ち、その特徴を的確に捉えられるようになることを目標とする。

コマ数	内 容 (個人実習：4単位)	コマ数	内 容 (グループ実習：4単位)
1	1. オリエンテーション・導入	2	1. リサーチ結果の共有 (プレゼン・ディスカッション)
2	2. オウンドメディアとは何か	1	2. チーム活動 prop の理解① OM の理解
3	3. 特徴的なオウンドメディアに見られる共通点	1	3. チーム活動 prop の理解② チーム決定
1.5	4. マーケティングの基礎知識	1.5	4. チーム活動 prop の理解③ ターゲット・ペルソナ設定
1.5	5. 生活者の理解	1.5	5. チーム活動 prop の理解④ FP とは/自分たちのこと
2	6. コミュニケーションの流れ	2	6. チーム活動 prop の理解⑤ prop の軸
1	7. プロモーション戦略② 4P/4C/購買意識	6	7. プロモーション戦略① KGI/KPI/コンテンツ企画/GW
2	8. プロモーションミックス① 構成要素/広報	3	8. コンテンツ制作① コンセプト/作業計画
5	9. プロモーションミックス② まとめ/プレゼン準備	5	9. コンテンツ制作① スケジュール管理/撮影/編集
2	10. プロモーションミックス③ プrezentation	3	10. コンテンツ制作① 内容の点検/修正
1	11. 個人活動① OM 立ち上げ条件/著作権	3	11. コンテンツ制作② コンセプト/作業計画
9	12. 個人活動② メディアリサーチ/企画立案	5	12. コンテンツ制作② スケジュール管理/撮影/編集
2	13. 個人活動③ 企画共有 (プレゼンテーション)	3	13. コンテンツ制作② 内容の点検/修正
6	14. コンテンツ制作①	3	14. コンテンツ制作③ コンセプト/作業計画
6	15. コンテンツ制作②	5	15. コンテンツ制作③ スケジュール管理/撮影/編集
5	16. コンテンツ制作③	3	16. コンテンツ制作③ 内容の点検/修正
5	17. コンテンツ制作④	3	17. コンテンツ制作④ コンセプト/作業計画
3	18. コンテンツ制作⑤	6	18. コンテンツ制作④ スケジュール管理/撮影/編集
2	19. まとめ 個人プレゼン	3	19. コンテンツ制作④ 内容の点検/修正

授業方法：全て講義、ディスカッション、実習

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価 80% 授業姿勢20%

【授業の特徴と担当教員紹介】

どういうプロモーションが行われているのかをリサーチしながら、プロモーションの基本的知識を学ぶ。またクラスと個人のオウンドメディア制作を通して、情報を発信する流れを実践する。

担当者：薰森三義（文化服装学院 専任講師）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

西暦2024年度	科名 ファッション流通科2年 ファッション流通高度専門士科	指 导 案	
教育目標・レベル設定:	科目名 ソーイングa	1単位	担当者:中野 麗子
各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。 各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。			

回数	日付	テ　マ	目的	指 导 内 容・方 法	学習内容・方法	準 備・備 考
1	4/18	導入、デザイン相談(つけ衿)	導入、各自制作したいものを考える	参考作品の提示、制作方法の簡単な説明	参考作品を提示 縫い方要点	実物参考作品・標本 パソコン プロジェクト
2	4/25	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	巻きロックの使用方法	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・ロックミシン アイロン
3	5/2	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リボンの応用	裁縫セット・縫い方標本・リボンサンプル ミシン アイロン
4	5/9	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	ギャザーの寄せ方、 ドローストリング	裁縫セット・部分標本、縫い方標本 ミシン・ひも各種・ゴム各種 アイロン
5	5/16	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	素材別仕上げアイロン	裁縫セット 様々な布地サンプル ミシン アイロン
6	5/23	導入、デザイン相談(リメイク)	導入、各自制作したいものを考える	導入、デザイン相談(リメイク)	参考作品を提示 縫い方要点	裁縫セット・実物参考作品・標本 ミシン・リメイク段階標本 アイロン
7	5/30	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	既製品の解体について	裁縫セット・縫い方標本・解体標本 ミシン アイロン
8	6/6	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	裁断、解体	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・解体標本 アイロン
9	6/13	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン アイロン
10	6/20	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
11	7/4	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
12	7/11	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	仕上げアイロンのかけ方	裁縫セット・様々な布地サンプル ミシン アイロン
13	7/18	発表会	各自の制作物に合わせスタイリングを考える	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)	各自の作品をスタイリングして発 表する	裁縫セット・学生制作作品 スタイリングに必要な用具・材料

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科名 ファッション流通コース2年 科目名 現代ファッション学	単位	単位
		授業期間	()

担当教員（代表）：花村 Jasmine 茉利子	共同担当者：
-------------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代のファッションビジネスのトレンド・事例などを、ケーススタディを通して学ぶ
学んだケースを自分のキャリアプランや働き方の姿勢にどのように生かし、現代のファッション業界でどう活躍するかを主体的にイメージできることを到達目標とする

（授業計画）

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

激動の現代ファッション業界のビジネストレンドを中心に、時事的なキーワードを中心にインプット会・リフレクション会の2部構成で7セットの授業を行う。

最終講義では提出した小論文を紹介し、さらに5年後、10年後、30年後のファッション業界のビジネストレンドがどのようにしていくかをディスカッションする。

予定しているトピック例は下記

- ・ファッショニエーのフロントローは誰だ（インフルエンサー問題）
- ・サステナビリティ（上流）
- ・サステナビリティ（下流）
- ・デジタルと伝統技術の融合
- ・スマート・ソーシャル M&A
- ・デジタルデザイン・AI を使いこなす

他、初回講義で学生から興味のあるトピックを募り、講義をアレンジできるものを2セット程度

【評価方法（予定）】 最終講義前に小論文を提出する。授業の理解度、社会への関心、主体性などから評価(70%)。最終講義でのディスカッション評価(20%)。出席、授業態度評価(10%)。

主要教材図書 なし

参考図書 TBD

その他資料 TBD

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：最新のファッション業界のビジネストレンドを多角的に学ぶことができる

担当教員：花村 Jasmine 茉利子（MODALAVA 株式会社）

ITコンサルタントから独立起業し、サステナブルファッショントートアップ MODALAVA を設立。「捨てないファッションの聖地」「新品廃棄のリメイクコミュニティ」「オンラインフリマサービス」「子供服サブスク」などを立ち上げ運営。他に、福島県磐梯町 DX 委員、Z世代コミュニティ Social Good Natives の立ち上げ、エステ・化粧品販売店舗の顧客カルテ作成支援コンサルなどを行う

記載者氏名 花村 Jasmine 茉利子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ファッショントロセス	単位	2 単位
科目コード	503150	科目名	ムービーワーク	授業期間 全期

担当教員(代表) : 小林文朋 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

主に Premiere を使用して、編集の基本を学ぶ。画コンテについても学び、編集の視点から企画、撮影を行う。また、Illustrator、Photoshop とも連携してタイトルワークを学び、After effects や Blender の基本も学ぶ。最終的にはメディアに納品できる形式の書き出しまで学び、Youtube への限定公開を行い、一人でムービーのフィニッシュを行えることを目的とする。

【授業計画】

コマ	内容
1	ガイダンス
2、3	Premiere での動画編集 ・映像の基本（画面サイズ、フレームレート、コーデック等）について
4、5	Premiere の UI、機能、エフェクト ・Premiere のエフェクト、トランジション、テキスト
6	Photoshop、Illustrator との連携
7	音楽の編集（シンクの作成等）
8~10	音楽に合わせた映像の撮影、編集（個人作品の制作）
11	画コンテの描き方の基本、画コンテの読み方
12~14	画コンテをもとに撮影 ・グループごとに分かれて撮影、編集
15、16	ドキュメンタリー等の長い撮影素材の編集
17、18	After Effects ・イージーイーズ、トラッキング、3D カメラ等
19~21	Blender
22、23	Premiere の編集テクニック
24~26	ショートムービーの編集

【評価方法】

S~C・F評価

評価基準：出席率20%、課題評価（授業姿勢）80%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

動画編集初心者であることを前提に基本から授業を進める。作品制作では自主性を尊重し、強制的な課題ではなく、各個人が制作したいものを作成しながら、ムービーの企画から公開までを一人で行える基礎を身につける。

担当者：小林文朋 TV-CM、ミュージックビデオを中心に広告映像のエディターを行う。作品によっては監督もする。

2024年映画「もし君があの日の僕になんでも」が公開。

記載者氏名 小林文朋

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コート RM2	科名 ファッションプロモーションコース 2年	単位 2単位
科目コード	科目名 グラフィックデザイン	授業期間 前後期

担当教員(代表) : 山本 拓	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。
実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。
卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
授業内容説明と Google Drive の使い方	本授業の目的説明とクラウドを使用した保存方法の説明	1
Illustrator の基本操作	基本的な Illustrator の使用方法を資料を用いての説明と練習	5
Photoshop の基本操作	基本的な Photoshop の使用方法を資料を用いての説明と練習	3
ソックスデザイン	企業との共同プロジェクトによるソックスデザインを制作する	4
ロゴ制作	ロゴ制作に際し、必要な知識とデザイン方法を学ぶ	3
Photoshop と Illustrator の連携	基本で学んだ内容を応用し、両ソフトを連携して使用する方法を学ぶ	2
バナー制作	バナー制作に際し、必要な知識とデザイン方法を学ぶ	3
案件実習	案件依頼が来たと仮定し、その際に必要な考え方や概念を学ぶ	3
ポスター制作	年度内で学んだ内容を活かし、個々でポスターを制作する	3

【評価方法】	
S~C・F 評価	評価基準 : 出席率・授業態度 50% 課題制作物 50%

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介 2019年独立。 アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行っている。 実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。	・フリーランスグラフィックデザイナー
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コート 科目コード RM2	科名 ファッション流通科 2年ファッションプロモーションコース 科目名 エディトリアルワーク	単位 授業期間	2単位 通年
-------------------	---------------------------------------------------	------------	-----------

担当教員(代表) : 須藤亮	共同担当者 : 溝口加奈・井平貴志・木村慶・佐藤香織・梶山春菜子
----------------	----------------------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現在のファッションビジネスにおけるあらゆるコミュニケーション設計において、最も必要とされるスキル「編集力」を実践的に身につける。表現に必要な、エディトリアル（ライティング含む）・ビジュアルディレクション・アートディレクション・ウェブディレクションの4つのスキルを中心にエディトリアルワークを総合的に学ぶ。

【授業計画】

「ファッションディレクターに必要な編集力を身につける」

ファッションディレクターに最も必要とされるスキルは、知識やセンスではなく、実は「編集力」。そして編集とは文字通り「集めて、編む」こと。拡散し続ける大量の情報の中から、どのようにして必要な情報を集め、その情報を「人々に伝えたいメッセージを100%伝える」ために、どういう筋道で編んでゆくか。この講座では、雑誌制作やビジュアルディレクション、ウェブコンテンツを制作するプロセスの模擬体験を通じ、これからの方に求められる「編集力」の重要性を直感的に理解させていきます

テーマ	方法	コマ数
1 エディトリアルワーク概論 編集力とは何かを知る。	講義	2
2 編集力講座 制作物 インタビュー記事／取材記事 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義・リサーチ・演習	4
3 ビジュアルディレクション講座 制作物 キービジュアル／ファッション特集4P 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義・リサーチ・演習	4
4 ライティング講座 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義・演習	4
5 エディトリアルデザイン講座 制作物 紙メディア 使用ソフト adobe illustrator のインストールされたPC プリンター カッターとカッティングシート	講義・リサーチ・演習	2
6 プロジェクトマネジメント講座 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義	1
7 ウェブメディアディレクション講座 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義	1
8 未定 調整中		2
9 業界研究 使用ソフト ワードがインストールされていて、インターネット、ズームに接続できるPC。プロジェクト。	講義	2
10 課題制作・総括 制作物 学んだことを生かしたZINE、またはウェブコンテンツの制作	自主演習	6

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準 : 学業評価 50% 授業姿勢 50%

主要教材図書

anna magazine／Container／mo-green の制作物

参考図書 適宜**その他資料 適宜****授業の特徴と担当教員紹介**

アートディレクター 井平貴志 ウェブデザインを中心に、ファッショングから企業広報までジャンルを問わず活躍。

クリエイティブディレクター 溝口加奈 ファッションを中心に、クライアントの伝えたいことをビジュアルで表現

チーフエディター 木村慶 編集力で機能的で意味の伝わるウェブサイト、コンテンツをディレクション。

チーフエディター 梶山春菜子 雑誌媒体を中心に読み物に携わる。文章表現を得意とする。

チーフエディター 佐藤香織 チーフエディターとして、多くの案件をスムーズに進める進行力に信頼がある。

クリエイティブディレクター 須藤亮 anna magazine、LUKE magazine、Container 編集長。また、編集的視点で企業のブランド設計を担当。

記載者氏名 須藤亮

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RM2	科名	ファッション プロモーションコース	単位	1単位	
科目コード		科目名	ファッション マーケティング論	授業時間		

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションをベースにしたマーケティングの基礎をプロの経営者から学ぶ。ファッションビジネスアワードへのコンペティション提出に向けた「Z世代に向けた新しいファッションビジネスの創出」をテーマに目的、現状分析、企画、経費などの企画提案のまとめなどを学び、最後にプレゼンテーションで発表する。

【授業計画】

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
マーケティング基礎	講義	2			
FBアワード①	グループ	2			
FBアワード②	グループ	2			
中間プレゼンテーション	グループ	2			
FBアワード③	グループ	2			
FBアワード④	グループ	2			
最終プレゼンテーション	グループ	2			

【評価方法】出席率 / 授業態度

出席率とグループ活動による総合評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

株式会社レインボーシェイク 代表によるブランド企画

記載者氏名：山田雅之

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RM2	科名	ファッション プロモーションコース	単位	1単位	
科目コード		科目名	ファッション マーケティング論	授業時間		

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションをベースにしたマーケティングの基礎をプロの経営者から学ぶ。ファッションビジネスアワードへのコンペティション提出に向けた「Z世代に向けた新しいファッションビジネスの創出」をテーマに目的、現状分析、企画、経費などの企画提案のまとめなどを学び、最後にプレゼンテーションで発表する。

【授業計画】

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
マーケティング基礎	講義	2			
FBアワード①	グループ	2			
FBアワード②	グループ	2			
中間プレゼンテーション	グループ	2			
FBアワード③	グループ	2			
FBアワード④	グループ	2			
最終プレゼンテーション	グループ	2			

【評価方法】出席率 / 授業態度

出席率とグループ活動による総合評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

株式会社レインボーシェイク 代表によるブランド企画

記載者氏名：山田雅之

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッショントレーニングコース	単位	単位
科目コード	科目名 デジタルマーケティング	授業期間	2024.4.19 - 7.26

担当教員(代表) : 力丸聰

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ブランドの基本的な価値設計の構造とその価値の伝え方を学び、マーケティングにおけるブランド構築の基礎について学ぶ

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

ブランドの基本設計①～⑤：計 10 コマ

市販の商品を題材にブランドの価値設計を、座学とグループワークを通じ学ぶ。
(機能的価値と情緒的価値 / POP・POD / ターゲットの求める価値 / 価値を伝えるクリエイティブの設計)

ブランドの開発⑥～⑨：計 4 コマ

無地 Tシャツのブランドを設計する・グループワークを行い、ブランド構築を実践する

【評価方法】

学業評価 50%
出席評価 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科 2年ファッションプロモーションコース	単位 2 単位
科目コード	科目名 メディア活用論	授業期間 通年

担当教員(代表) : ボブ田中	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
様々なメディアの種類と特性を知る。さらにメディアに流れるコンテンツとしての広告、クリエイティブ、プロモーション、マーケティングに関する最低限必要な基礎知識などの習得を目指す。プレス、広報、販売促進業務において実務として求められる「コンテンツ企画」と「メディア設計」のベースを考えられるレベルとなることを最終目標とする

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
イントロダクション -世の中にコミュニケーションは必要か-	・講義 ・討論	1	前期の各メディアについて -小テストに対する解説-	・講義 ・討論	1
メディア/広告業界の動向 -広告の機能と種類-	・講義 ・討論	1	メディアと社会倫理 -炎上する広告とマーケティングの種類- OOH メディアの理解と動向 (1) -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1
メディア/広告業界の動向 -広告会社の役割-	・講義 ・討論	1	OOH メディアの理解と動向 (2) -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1
キャンペーンの事例 -オリエンテーションからメディア出稿まで-	・講義 ・討論	1	メディアとしてのイベントの理解と動向 -スポンサーシップの種類と効果-	・講義 ・討論	1
メディア表現計画 課題解決のためのクリエイティブ -良い広告表現と悪い広告表現-	・講義 ・討論	1	セールスプロモーションの定義と機能 -多様な事例と法規制- PR、パブリシティの定義と機能 -広告との違い理解-	・講義 ・討論	1
テレビメディアの理解と動向 -概況-	・講義 ・討論	1	デジタルメディア活用の最前線 -企業の現場から-	・講義 ・討論	1
テレビメディアの理解と動向 -媒体特性-	・講義 ・討論	1	ダイレクトマーケティング -ブランド広告との違い理解- インストア・マーチャンダイジングの定義と機能 -店舗における消費者行動の理解-	・講義 ・討論	1
ラジオメディアの理解と動向 -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1	メディアプランニング多様な媒体と選択の最適化 -ターゲットと接点の理解- / -媒体特性と設計の仕方-	・講義 ・討論	1
新聞メディアの理解と動向 -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1	マーケティングの理解 -基本定義と概要-	・講義 ・討論	1
雑誌メディアの理解と動向 -概況と媒体特性 (1) -	・講義 ・討論	1	マーケティング計画の理解 - 企業視点の 4P -	・講義 ・討論	1
雑誌メディアの理解と動向 -概況と媒体特性 (2) - フリーペーパーの理解と動向 -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1	マーケティング枠組みの理解 - 市場機会 (ニーズ/シーズ) と環境変化 -	・講義 ・討論	1
インターネットメディアの理解と動向 (1)	・講義 ・討論	1	マーケティング戦略の理解 -顧客創造の基本技術 STP-	・講義 ・討論	1

-概況と媒体特性-					
インターネットメディアの理解と動向 (2) -概況と媒体特性-	・講義 ・討論	1	メディア活用のプランニング -1年を通した総括-	・講義 ・討論	1
前期の各メディアの理解と動向について -要点の振り返り-	・講義 ・討論	1	授業のまとめ、授業内レポートおよび アンケート実施等	・個人 ワーク	1

【評価方法】

■評価方法：中間試験/期末試験の得点、出欠状況 ■比重：学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書

田中範男「広告のことが面白いほどわかる本」中経出版

※絶版のため Kindle 版を Amazon で各自購入のこと

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

広告会社を経て、大学で教鞭をとっている経験をベースに、広告 PR 実務に必要な知識とスキルを網羅的にカリキュラム化。
アクティブラーニングに重きを置き、目で見て、頭で考え、手を動かす作業を通して、実践的な学びを習得。

記載者氏名 ボブ田中

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科2年 ファッションプロモーションコース	単位 1単位
科目コード	科目名 プロモーション演習	授業期間 後期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ◆外部企業とのコラボレーションを通じ、クライアントの要望（目的・ターゲット・シーズンなど）に合ったプロモーション手法を習得する。
- ◆コンペティション形式でプレゼンテーションをし、自身の企画・アイデアをクライアントや消費者に伝えるスキルを向上させる。
- ◆企業からフィードバック（講評）をもらい、今後のプロモーション活動へつなげる。

コマ数	方法	内 容
1	講義・演習・ディスカッション	1. コラボレーション企画概要説明・販売促進ツールの役割を知る
1	講義・演習・ディスカッション	2. コラボレーション企業のブランドリサーチ・競合ブランドリサーチ
1	講義・演習・ディスカッション	3. プロモーション企画立案（ラフ案製作・チーム分け）
1	講義・演習・ディスカッション	4. プロモーション企画実践①
2	講義・演習・ディスカッション	5. プロモーション企画実践②
3	講義・演習・ディスカッション	6. プロモーション企画実践③
1	講義・演習・ディスカッション	7. コラボレーション企業 中間報告会
2	講義・演習・ディスカッション	8. プロモーション企画実践④
2	講義・演習・ディスカッション	9. プロモーション企画実践⑤
1	講義・演習・ディスカッション	10.まとめ／フィードバック／講評

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

【授業の特徴と担当教員紹介】

協力企業をクライアントと見立て、クライアントの要望を理解しながら企画立案をする流れを実践する。また企画のプレゼンテーションを通して、クライアントに伝えるにはどうしたらいいのかを考え、実践する。

担当者：薰森三義（文化服装学院 専任講師）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド RM2	科名 ファッションプロモーションコース	単位	2単位
科目コード	科目名 プロモーションフォト	授業期間	通年

担当教員(代表) : 岩野一真 共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

カメラや写真の基礎知識やスキルはもちろんのこと、プレスや編集者、EC担当といった様々な職種での撮影機会に合わせた立ち回りなど、それぞれの視点で写真との接点を体験し、今後社会に出たときに一歩リードできるような学生を育成します。写真が上手くなるコツは反復練習あるのみですので、全ての時間でカメラを触れるような実習中心の授業を予定しています。

コマ数	内 容
2	オリエンテーション/撮影の基本
2	写真のセレクト/写真の編集
2	人物撮影基礎(ロケ)
2	人物撮影基礎 I(ライティング/バック紙を用いた撮影)
2	人物撮影基礎 II(ライティング/バック紙を用いた撮影)
2	人物撮影応用 II
2	商材写真(ECサイトを想定した撮影)
2	スマホ・フィルムカメラの撮影方法
2	撮影現場での立ち回り方について
2	撮影のディレクション
2	自身のインスタグラムに掲載する写真を作る I
2	自身のインスタグラムに掲載する写真を作る II
2	自身のインスタグラムに掲載する写真を作る III

【評価方法】

S～C・F評価、評価基準: 学業評価 50% 授業姿勢 50%

主要教材図書

参考図書、その他資料

授業の特徴

一眼レフを使った撮影や編集の実習メインの授業。オウンドメディア『prop』に生かす撮影技術を伝授していきます。

担当教員紹介

フォトグラファー歴、約13年のストリートスナップメディア『Droptokyo』の元編集長。現在はアパレル企業のプロモーションの制作をディレクター、フォトグラファー、ビデオグラファーの側面などで担当している。

記載者氏名 岩野一真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM	科名 ファッション流通科 2年 ファッションプロモーションコース	単位	1単位
科目コード 403600	科目名 ファッション商品知識	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐藤 雄太郎 共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル企業での業務で必要な商品知識を身に付けることを目標とする。

1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く講義を中心に必要な知識を習得する。

コマ	内 容
1	オリエンテーション、フォーマルウェアの知識①
2	フォーマルウェアの知識② 過去問解説
3	アパレル商品の柄の知識①
4	アパレル商品の柄の知識②
5	パンツの知識①
6	シャツ、ブラウスの知識①
7	シャツ、ブラウスの知識②
8	スカートの知識①
9	ニット、カットソーの知識①
10	ニット、カットソーの知識②
11	ジャケットの知識①
12	ジャケットの知識②
13	コートの知識①

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価 60% 授業姿勢40%

商品知識（デザイン、特徴、素材、構造など）について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう。
(前期、後期の平均点と出欠・授業態度)

主要教材図書

文化ファッション体系ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編 I (商品知識)

文化ファッション体系ファッション流通講座①コーディネートテクニック アパレル編 II (商品構成)、ファッション辞典

参考図書

記載者氏名 佐藤 雄太郎

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科ファッションプロモーションコース	単位 1単位
科目コード	科目名 ファッション情報	授業期間 通年(A週)

担当教員(代表) : 澤住 優子 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッション入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。
- ・また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。
- ・場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析ができる力を身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. 情報活動について (1コマ) … 講義

- ① オリエンテーション・情報活動の位置づけと重要性について
- ② ファッション情報の流れについて

II. 消費者分類 (1コマ) … 講義と演習

- ① 消費者のイノベーター分類とプロモーション活動について

III. ファッション情報分析 i (4コマ) … 講義・演習

- ① 秋冬コレクション情報の収集と分析と傾向の把握
- ② 分析結果をビジュアルマップとして制作・市場への影響について考察
- ③ プrezentation

IV. コレクション解説 (1コマ) … 講義

- ① コレクション解説及びファッション予測情報解説

V. 市場調査の意味とその手法 (4コマ) … 講義・演習

- ① 店舗調査と視察調査の実施
- ② 商品情報(2024-25AW)の収集と分析
- ③ コレクション情報の市場への反映についての確認

VI. ファッション情報分析 ii (4コマ) … 講義・演習

- ① 春夏コレクション情報の収集と分析と傾向の把握
- ② 分析結果をビジュアルマップとして制作・市場への影響について考察
- ③ プrezentation

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワード・リソースセンター映像ルームコレクション映像など

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住優子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科2年 ファッションプロモーションコース	単位 1単位
科目コード	科目名 カラープランニング	授業期間 前期

担当教員(代表) : 桑野恵美 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

様々なメディアにおけるコミュニケーションの中での色彩の役割を理解し、「伝える」ためのツールとして客観的な色彩の活用を目指す。使用色に意味をもたせ説明できることが目標。

コマ	内 容
1	導入 視覚情報における色彩の役割/色とイメージ
2	配色テクニックとその効果①-1
3	配色テクニックとその効果①-2
4	配色テクニックとその効果②-1
5	配色テクニックとその効果②-2
6	配色テクニックとその効果③
7	その他の配色テクニック
8	色分析
9	色彩心理①-1
10	色彩心理①-2
11	色彩心理②
12	企画に生かす色彩計画
13	カラープランニング実践①
14	カラープランニング実践②
15	カラープランニング実践③(発表/講評)

【評価方法】 S~C・F評価 評価基準 : 学業評価 60% 授業姿勢 40%

主要教材図書 『ファッション色彩Ⅱ』一般財団法人日本ファッション教育振興協会発行

参考図書 適宜

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、8版、カラーチャート(1年時使用)

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション・アパレルにおける販売・商品企画・店舗VMD等の活動経験をもとに、ファッション業界における色彩実務に専門的知識とその活用方法を身につける授業を実施。

記載者氏名 桑野 恵美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッションプロモーションコース	単位 1単位
科目コード	科目名 プロダクトデザイン	授業期間 (前期)

担当教員(代表)：犬飼崇

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ノーコードツール STUDIO を使用した Web サイトの制作方法を学んでもらいます。基礎的な操作方法をマスターしてもらい、テンプレートをカスタマイズして自身の Web サイトを制作できる応用力を身につけてもらいます。

【授業計画】

■授業概要

- ・ノーコードツール STUDIO を使用した Web サイト制作の学習
- ・実際に STUDIO を使いながらサンプルの Web サイトを制作し、基本操作を学んでもらいます。
- ・基本操作を学んだのち、応用としてテンプレートをカスタマイズする方法を学びます。

■学習目標

- ・STUDIO の基礎操作を学習し、シンプルな Web サイトを構築できるようになる。
- ・自分が思い描くイメージを STUDIO で再現できるように応用力を身につける
- ・Web サイトを作ることを楽しむ

■学習内容

- ・STUDIO の基本操作 (5 コマ)
- ・STUDIO のテンプレートのカスタマイズ (5 コマ)
- ・STUDIO の CMS 機能の利用方法 (5 コマ)

【評価方法】

STUDIO の基本的な操作方法を理解し、自身のイメージを具現化できる応用力を身につけているかを確認し、総合的に判断する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM02	科名 ファッションコースプロモーションコー 科目コード 科目名 現代ファッション学	単位	単位
		授業期間	() 後期

担当教員（代表）：花村 Jasmine 茉利子

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代のファッションビジネスのトレンド・事例などを、ケーススタディを通して学ぶ

学んだケースを自分のキャリアプランや働き方の姿勢にどのように生かし、現代のファッション業界でどう活躍するかを主体的にイメージできることを到達目標とする

（授業計画）

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用/パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

激動の現代ファッション業界のビジネストレンドを中心に、時事的なキーワードを中心にインプット会・リフレクション会の2部構成で7セットの授業を行う。

最終講義では提出した小論文を紹介し、さらに5年後、10年後、30年後のファッション業界のビジネストレンドがどのようにになっていくかをディスカッションする。

予定しているトピック例は下記

- ・ファッションショーのフロントローは誰だ（インフルエンサー問題）
- ・サステナビリティ（上流）
- ・サステナビリティ（下流）
- ・デジタルと伝統技術の融合
- ・スマート・ソーシャル M&A
- ・デジタルデザイン・AI を使いこなす

他、初回講義で学生から興味のあるトピックを募り、講義をアレンジできるものを2セット程度

【評価方法（予定）】 最終講義前に小論文を提出する。授業の理解度、社会への関心、主体性などから評価(50%)。最終講義でのディスカッション評価(30%)。出席、授業態度評価(20%)。

主要教材図書 なし

参考図書 TBD

その他資料 TBD

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：最新のファッション業界のビジネストレンドを多角的に学ぶことができる

担当教員：花村 Jasmine 茉利子（MODALAVA 株式会社）

ITコンサルタントから独立起業し、サステナブルファッショントートアップ MODALAVA を設立。「捨てないファッションの聖地」「新品廃棄のリメイクコミュニティ」「オンラインフリマサービス」「子供服サブスク」などを立ち上げ運営。他に、福島県磐梯町 DX 委員、Z世代コミュニティ Social Good Natives の立ち上げ、エステ・化粧品販売店舗の顧客カルテ作成支援コンサルなどを行う

記載者氏名 花村 Jasmine 茉利子

2024年度科目概要

科コード 科目コード	科名 ファッション流通科2年 科目名 ファッション英会話	単位 授業期間	1単位 前期
---------------	---------------------------------	------------	-----------

担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を基に、簡単な英語でコミュニケーションをとることを目標とする。少人数クラスの利点を生かし、学生が自主的に英語を話そうとする意欲を涵養する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 8, 9, 10: Review of grammar	演習	1	Unit 27: Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 20: Fashion items	演習	1	Unit 28/29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 21: Colors-Patterns	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 22: Laundry care	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 23/Unit 26: Body and face parts	演習	1	Unit 33: fashion show	演習	1
Unit 24: Presentation	演習	1		演習	

【評価方法】平常点(出席、クラス参加)30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科名 ファッション流通科 2年	単位	1 単位
科目コード	科目名 TOEIC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

TOEIC テストでの 600~700 点程度の取得。

またスコアに見合うだけの英語力を身につける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
コースと TOEIC の概要紹介	演習	1
接尾辞と品詞	演習	1
Part 1 解説と演習	演習	1
Part 2 解説と演習	演習	1
Part 3 解説と演習	演習	1
Part 4 解説と演習	演習	1
接頭辞と意味	演習	1
Part 5 解説と演習(1)	演習	1
Part 5 解説と演習(2)	演習	1
Part 6 解説と演習	演習	1
Part 7 解説と演習(1)	演習	1
Part 7 解説と演習(2)	演習	1
Part 7 解説と演習(3)	演習	1

【評価方法】学業評価(50%)、授業姿勢(50%)

授業の特徴と担当教員紹介

TOEIC の出題形式に慣れるために、目標レベルにあったテキストでの問題演習を繰り返すことで、Part 毎の出題傾向を捉える。

主要教材図書 増補改訂版 はじめての TOEIC L&R テスト 全パート総合対策

参考図書

その他資料

記載者氏名 三村 典召

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科名 ファッション流通科 2年／ファッション流通高度専門士科 1～4年	単位 1単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間 前期

担当教員(代表)：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要 ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鈎針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鈎針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鈎針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重 提出物…80% 授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント
授業の特徴と担当教員紹介 ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2 RA1234 科目コード	科名 ファッション流通科 2年／ファッション流通高度専門士科 1～4年 科目名 ソーイング a	単位	1 単位
		授業期間	前期

担当教員(代表)：中野 麗子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します） 各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム（つけ衿・リメイク）を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価
評価基準：学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック アクセサリー編
参考図書
その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2 科目コード	科名 ファッション流通科 2年／ ファッション流通高度専門士科 1年～4年共通自由選択 科目名 選択帽子（布帛）	単位 1単位 授業期間 前期
-------------------	----------------------------------------------------------------	-------------------

担当教員(代表)：徳満 真紀 共同担当者：

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。

発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーデネートを行う。

- I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1コマ
1歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー
2自分のヘッドサイズの測り方を学び、採寸

- II. ベレー帽製作…（講義・実習）5コマ
ベレー帽の構造を理解する
1パターン製作
2裁断・印つけ・本縫い

- III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュ・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリー）…（講義・実習）6コマ
各自製作の帽子の構造を理解する
1パターン製作
2裁断・印つけ・本縫い

- IV. 発表会……1コマ
1製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】 1 S・A・B・C・F評価
2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリー編 文化服装学院編
学校法人文化学園 文化出版局

参考図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編
学校法人文化学園 文化出版局

その他資料 なし

授業の特徴 布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーデネート発表会を行う。
担当教員紹介 文化服装学院 専任教授

記載者氏名 徳満 真紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科名 科目名	単位	単位
	映画からみるファッションA	授業期間	前期

担当教員(代表) : 関根 麻里恵	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要 : ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。

到達目標 : 映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（=レポート提出）することを目標とする。

レベル設定 : 映画を定期的に鑑賞していて、映画とファッションの関係やジェンダーに興味があり、なおかつそれを知ろうとする向上心のある学生が好ましい。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
第1回 イントロダクション	講義	1
第2回 映画・ファッション・ジェンダーの関係	講義	2
第3回 1910年代-1920年代 : サイレント時代	講義	3
第4回 1930年代-1940年代 : ハリウッド映画黄金時代	講義	4
第5回 映画作品鑑賞①	講義	5
第6回 1950年代-1960年代前半 : 娯楽大作主義時代	講義	6
第7回 1960年代後半-1970年代前半 : アメリカン・ニューシネマ、パニック映画時代	講義	7
第8回 映画作品鑑賞②	講義	8
第9回 1970年代後半-1990年代前半 : ニュー・アメリカン・ドリーム、ビデオ時代	講義	9
第10回 1990年代後半- : CG時代	講義	10
第11回 映画作品鑑賞③	講義	11
第12回 LGBTQ映画とファッション	講義	12
第13回 まとめ	講義	13

【評価方法】

①S~C・F評価。出席(40%) +コメントシート(10%) +レポート(50%)

主要教材図書 なし

参考図書

川本恵子『新装版 魅惑という名の衣裳—ハリウッド・コストュームデザイナー史』株式会社キネマ旬報社、2009年。
村山匡一郎編『映画史を学ぶ クリティカル・ワーズ【新装増補版】』フィルムアート社、2013年。

その他資料 適宜配布

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : ファッションも映画も、その当時の社会的背景や技術に影響をうけて発展・衰退・進化をしているメディアであることを、歴史を踏まえながら理解することで、ファッション、映画双方への理解を深めることができる。

担当教員紹介 : 専門は表象文化、ジェンダー・セクシュアリティ、文化社会学。ファッション批評誌『vanitas』（アダチプレス、2013年）のほか、『ユリイカ』『現代思想』などに寄稿。共著に『ポスト情報メディア論』（ナカニシヤ出版、2018年）、『百合映画』完全ガイド（星海社、2020年）、『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ——私と社会と衣服の関係』（フィルムアート社、2022年）、『ポストヒューマン・スタディーズへの招待——身体とフェミニズムをめぐる11の視点』（堀之内出版、2022年）、共訳に『ファッションと哲学』（フィルムアート社、2018年）がある。（2020年6月現在）

記載者氏名 関根麻里恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科名 ファッション流通科2年/流通高度専門士科1~4年	単位 1単位
科目コード	科目名 パソコンスキルb	授業期間 前後期

担当教員(代表) : 山本 タク	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法と現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
授業内容説明	通常授業をベースとした内容の説明	1
Illustrator での絵型制作	写真やイラストを使用しトレース技術を向上する	5
Tシャツデザイン	入稿を念頭においていたデザイン方法の説明	3
バナー制作	Web用画像の制作方法とデザインの説明	3
Illustrator のショートカット	より効率的にソフトを使用するために必要なキー操作の説明	1

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材図書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介 2019年独立。 アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行	・フリーランスグラフィックデザイナー
-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科 2年 ファッションプロモーションコース	単位	2
科目コード	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 薫森 三義	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

- ・ファッションプロモーションに必要な専門知識の理解を深める。
- ・デジタル、プロモーション、デザインに関連する視野を広げ、自身の成長につなげる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・アパレル企業でのプロモーション
 - ーセレクトショップ
 - ーブランドショップ など
- ・プレス(アタッシュドプレス・ハウスプレス)、広報のこと
- ・ライター、エディターのこと
- ・フォントのこと
- ・販売促進のこと
- ・広告代理店のこと
- ・WEB編集のこと
- ・雑誌編集のこと
- ・ブランドビジネスのこと
- ・国内のプロモーション施策
- ・WEBビジネスのこと
- ・コミュニケーションデザインのこと
- ・ファッションテクノロジーのこと
- ・ホームページ制作、データ分析のこと
- ・プロモーションに関する法律、情報リテラシーのこと
- ・働き方のこと など

※全て講義形式で実施

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示) 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の可否を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

業界で活躍するプロの話を聞き、職業理解と自身の目標設定につなげる。またそれぞれの仕事がプロモーションにどのように関わっているかを理解する

担当者: 薫森三義(文化服装学院 専任講師)

記載者書名欄 薫森 三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科 2年 ファッションフローモーションコース	単位 1
科目コード	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間 後期

担当教員(代表) : 薫森 三義	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

研修旅行における企業見学（株式会社ゴールドワインほか）を通じ、アパレル産業の現場を理解する。

また各種施設の見学を通して、日本の文化圏や国内デザインについての知見を深める。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

《研修旅行 : 石川 2泊3日》

1日目(9:00頃 発)

東京駅-富山駅-(昼食)-ゴールドワイン-ホテル

2日目

ホテル-兼六園(写真)-21世紀美術館-市内散策(昼食・夕食)～ホテル泊

3日目

ホテル-小松マテーレ-(昼食)-金沢駅-東京駅(18:00頃 着)

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の可否を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションに関わる企業訪問を通して、日本の技術を学ぶ機会にする。また地方独自の歴史や文化を感じ、自身の糧とする
担当者 : 薫森三義 (文化服装学院 専任講師)

記載者書名欄 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッションプロモーションコース	単位	1単位
科目コード	科目名 イベント実習 a	授業期間	前期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通科1年を歓迎するための企画を考え、実践する。活動を通してチームワークの重要性を意識させ、企画を実現するプロセスを学ぶ。また実践したものが相手にどのように評価されたかを確認する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	内容	方法	コマ
導入 概要説明	FPコースらしさとはなにか コースの強み できること やりたいこと	講義	1
企画立案	1年生が喜ぶこと 嬉しいこと 聞きたいこと 1年生が疑問に思うこと 相手の気持を想像する	プレスト	3
チームミーティング	企画内容の精査 イメージ共有 スケジュール調整 役割分担 準備するもの 買い出し 撮影・教室展示準備	ディスカッション	3
撮影	チームごとに撮影	実習	3
編集作業・教室展示準備	トンマナ・編集の実践・教室展示準備	実習	3
まとめ	プラッシュアップ・情報発信作業・教室展示		2

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準 : 演習課題 (80%)、出席率 (20%)

授業の特徴と担当教員紹介

ターゲット(1年生)に伝わる企画を立て、制作、それを伝えるところまで実践する。各コンテンツ毎(冊子・映像・教室展示)学生人数を振り分け、グループワークを実施。撮影・編集作業も全て行い、成果物はターゲットへの配布・教室での放映・展示を行う。

担当者 : 薫森三義 (文化服装学院 専任講師)

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科名 ファッション流通科 2年	単位 2
科目コード	科目名 イベント実習 b	授業期間 後期集中（自由選択）

担当教員(代表)：
木本 晴美

共同担当者：
久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎
薫森三義 野口恭子 斎藤房枝

教育目標・レベル設定など
自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。
ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。

授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先	
● 顔合わせ 検討会	4コマ 講義・実習
・各パート係選出・決定 ・各パートにて検討会	
●各パート実働	12コマ 実習・点検
・各パート活動を通してファッションショーの仕組みと効果的な演出方法を学ぶ ・各シーンでのフィッティング点検 ・エフェクト(音楽・照明・映像)点検	
●準備 リハーサル	9コマ 実習・点検
・各パートでの実習 準備リハーサル	
●本番	4コマ 実習
・各パートでの実働	
●反省会 片付け	1コマ 実習・まとめ
・各パート片付け・反省会	

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

イベント実習の集大成としてファッショニメントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科名 ファッション流通科 2年	単位 1
科目コード	科目名 イベント実習 c	授業期間 後期集中(自由選択)

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 斎藤房枝
---------------------	----------------------------------------------------

教育目標・レベル設定など 自由選択で行うイベント実習での企画運営。イベントの企画立案を学び、イベントの構築を行う。 ファッションイベント制作での個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力を養う。

授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
●企画立案
・企画スタッフ公募 学生個々で企画立案レポート作成 1コマ 実習
・テーマ設定 テーマの検討・決定 3コマ実習・点検
・シーン設定 シーンの検討・決定 4コマ実習・点検
・プロモーション プレスリリース案検討・決定 2コマ実習・点検
・各シーン内容の構築 各シーンについての内容細部検討 4コマ

評価方法・対象・比重 S～C・F評価 評価基準: 学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科2年 ファッションプロモーションコース	単位 1~3単位
科目コード	科目名 インターンシップ a. b. c	授業期間 通年

担当教員(代表) : 薫森三義 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現場でのインターンシップを通して、①業界の現状を知ること、②自身のスキルアップにつなげることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・自主参加によるインターンシップ(実習)を実施する。
- ・インターンシップ企業は自身で開拓、もしくはキャリア支援室に紹介された企業とする。
- ・インターンシップであるため交通費や賃金は発生せず、無償での実習とする。
- ・インターンシップ後にはレポートの提出が必要となる。
- ・実習時間によって付与される単位数が決定する。

インターンシップa : 1週間 (7~8時間×5日間=35~40時間) に相当する実習には1単位付与
※15コマ相当として換算

インターンシップb : 2週間 (7~8時間×10日間=70~80時間) に相当する実習には2単位付与
※30コマ相当として換算

インターンシップc : 3週間 (7~8時間×15日間=105~120時間) に相当する実習には3単位付与
※45コマ相当として換算

【評価方法】

履修認定(P表示) 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

企業での仕事内容を理解し、自身の学びにつなげる。また自身のキャリアを考える機会とする。

担当者: 薫森三義 (文化服装学院 専任講師)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RM2	科名 ファッション流通科2年 ファッションプロモーションコース	単位	4
科目コード	科目名 卒業制作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

1年間の集大成として、オウンドメディアを活用したプロモーション施策を企画立案、具現化する。また、自身のこだわりが詰まったメディアコンテンツをZINEとリアル展示で表現する。企画から制作までのスケジュール管理や段取りも徹底して行う。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

プロモーション企画作成 & プрезентーション

1. 導入 (講義・実習)

テーマ設定 (企画の目的、狙いを明確化) 4コマ

2. いまの時代を表すプロモーション施策を企画する (講義・実習)

企画のためのリサーチ

企画書作 10コマ

3. 企画実現のためのプロモーション施策を具現化する (講義・実習)

プロモーション施策の具現化 14コマ

ZINE: 具現化のための準備および実習 12コマ

展示: 具現化のための準備および実習 12コマ

4. プrezentation準備を行う (講義・実習)

最終プレゼンテーションのための準備

発表準備、プレゼンテーション 2コマ

5. プrezentationを行う (プレゼンテーション)

クラス内でのプレゼンテーションを行う

クラス内プレゼンテーション 3コマ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準: 学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

1年間の学びを生かして、自分の興味関心の高い分野、または自分の得意な分野について企画検討し、プロモーション企画を立案する
またプレゼンテーションを通して人に伝えることを学び、実践する

担当者: 薫森三義 (文化服装学院 専任講師)

記載者書名欄 薫森三義